

～ 北上川下流河川事務所 地域の担い手育成企画 第2弾～

H29.10.11 石巻工業高等学校において出前講座を開催



- 平成29年10月11日、石巻工業高校において、地域の担い手育成企画第2弾として、宮城県建設業協会石巻支部と連携し、石巻工業高等学校土木システム科1年生40名を対象に「川村孫兵衛重吉翁の偉業、北上川の河川改修、東日本大震災からの復旧・復興」について出前講座を実施しました。
- 減災対策協議会の取組の一環である本取組を通じ、北上川改修により石巻発展の礎を築いた川村孫兵衛重吉翁の偉業や、カスリン・アイオン台風等を踏まえた北上川改修の歴史、東日本大震災からの復旧・復興、かわまちづくりの取り組みについて学ぶとともに、土木のすばらしさと社会的役割を認識していただきました。
- 参加者からは、「北上川の歴史など初めて知ることが多く勉強になった。」「自分たちが学んでいる土木について再認識した。」などの感想がありました。



▲北上川下流河川事務所 高橋所長による講義



▲真剣に聞き入る石巻工業高校生

講義の内容

- 川村孫兵衛重吉翁の偉業
- 北上川河川改修の歴史(カスリン・アイオン台風の被害とその後の改修事業)
- 減災対策協議会の取組み
- 東日本大震災からの復旧・復興 (かわまちづくりの取組等)

川村孫兵衛と北上川の関わり

○川村孫兵衛：伊達政宗の家臣
(かわむらまごべえ)

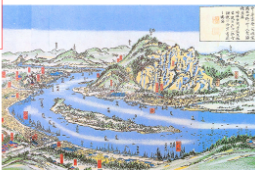
- ・長州（今の山口県）出身
- ・測員学、数学、水文学、天文学、土木技術、製塩、製鉄など様々な分野に精通していた。



北上川、江合川、迫川を合流させる。北上川を石巻に通す。

【目的】
石巻港までの舟運確保

石巻は米の集積地になり米蔵が建ち並んで、江戸米の基地として賑わった。港町石巻の繁栄の基礎を造った。



旧北上川右岸中央地区の景観

夜も水辺の憩い空間として利用



夜の水辺への集いを意識したボラードへの照明設置

北上川下流 最新12年9月(2022.9)～最新13年9月(2023.9)の洪水

■カスリン台風(S2914-14)
■アイオン台風(S2915-14)

石ノ森高商館

水防防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防防災意識社会再構築ビジョン」として、全ての流域河川にその沿川市町村(100水系、730市町村)において、平成32年度目標に水防防災意識社会を再構築する取組を行う。

- ソフト対策：住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるように、より実効性のある「住民主体のソフト対策」を実施し、平成32年度末までに全流域に普及させる。
- ハード対策：「洪水の害を未然に防ぐ対策」に加え、「災害が発生した場合には被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度末までに普及させる。

主な対策

- ＜危機管理型ハード対策＞
 - 洪水等が発生した場合でも被害の時間を短縮し、早期避難を促すよう堤防強化を図る。
 - 堤防の強化・改修・築き直しなどを行う。
 - 堤防の強化・改修・築き直しなどを行う。
 - 堤防の強化・改修・築き直しなどを行う。
- ＜住民主体のソフト対策＞
 - 住民主体のソフト対策の普及を図る。
 - 住民主体のソフト対策の普及を図る。
 - 住民主体のソフト対策の普及を図る。